

令和5年12月「月報」

1 はじめに

師走を迎え、皆様お忙しいことと存じます。

先日、陸幕募集・援護課長や某地方協力本部の募集課長のお話を伺う機会がありました。「去年の募集も厳しかったけれど、今年はそれに輪をかけて厳しい。」とのことでした。

市ヶ谷駐屯地では、陸海空幕募集担当者と家族会、隊友会事務局員が隊員自主募集を呼びかける運動をしました。



各地で「つなぎ」を頑張っていることと思います。合格者、そのご家族ともに不安や迷いで揺れる心を支えてあげてください。

令和6年が、皆様にとって良い年でありますようにお祈り申し上げます！！

2 防衛省・自衛隊の活動

自衛隊は、11月10日～20日の間、令和5年度自衛隊統合演習を実施しました。

この演習は、陸・海・空自衛隊が統合により演習を行うことで自衛隊の統合運用能力を維持・向上させるものです。訓練の一部には米軍が参加し、日米の相互運用性の向上も図りました。また、オーストラリア、カナダ、フランス、ニュージーランド、フィリピン、韓国、イギリス、ドイツおよびNATOからオブザーバーを招聘しました。



3. トピック！！

公益社団法人自衛隊家族会 理事 橋本 豪 氏は、11月17日から21日までの間、陸自朝霞駐屯地で行われた令和5年度予備自衛官招集訓練に参加しました。



橋本理事は、外国事務弁護士としてご活躍のところ、技能公募（法務）として予備自衛官となり、わが国の安全保障に貢献されています。

4. 家族会の活動

(1) 令和5年度 四国地域協議会 10月27日（金）

令和5年度自衛隊家族会「四国地域協議会総会」（香川県家族会（平井会長）担当）が、各県会長、事務局長、小和瀬地域担当委員、四国の各地方協力本部長、中部方面総監部人事部募集課長代理等が出席して、陸自善通寺駐屯地で実施されました。

家族会の活動の基盤となる会員の拡充について各県の現状と問題認識を発表し、

「自衛隊側、特に地方協力本



部との連携強化による募集活動及び入会勧誘活動」「自衛隊、行政機関等と一体となった活動による家族会加入への働きかけ」「各種イベント、講演会等の開催を通じた家族会への理解と連帯感の醸成」が各県共通の対策・活動方向として認識され、「各部隊長による隊員に対する家族会の紹介及び家族会への加入促進のための説明の強化」を要望することとしました。



終了後、装備品展示で説明を受けたのち、善通寺駐屯地内の隊員クラブ



で、第14旅団長 大場陸将補をはじめ、近隣部隊長、各県出身隊員等100名と交流の機会を持ち、自衛隊の現況を伺い、また、激励するとともに、家族会をPRしました。

(2) 令和5年度 近畿地域協議会総会 11月12日（日）

令和5年度自衛隊家族会近畿地域協議会（奈良県家族会（河本会長）担当）が、各県会長、事務局長等、田中運営委員、近畿地域の各地方協力本部長、中部方面総監部人事部募集課長代理等が出席して、奈良市内のホテルリガール春日野で開催され、本部委託テーマの「家族支援体制の整備について」の他「近畿地域間の連携を強化するための方策について」を主題に活発な意見が交換されました。

国家防衛戦略に家族支援の拡充が謳われる中、家族支援協力の具体的な範囲や非会員への対応等、また近畿地域間の連携強化では記念行事等の機会の活用の他、リモートでの連携による会議などへの参加範囲の拡大等の意見が出ました。



その後、第3師団長 佐藤陸将の「我が国の安全保障と第3師団の現況」と題する講演を拝聴し、参加者一同認識を新たにいたしました。

懇親会では高官の方々と様々なお話をしながら交流でき、有意義なうちに終了しました。

ご参加くださった第3師団長、空自幹部候補生学校長 石上空将補、海自阪神基地司令 黒田1佐他の皆様、有難うございました。



(3) 栃木県防衛後援会

栃木県家族会は、11月19日（日）講師に高田克樹元陸上総隊司令官をお迎えし、栃木県鹿沼市で防衛講演会を開催しました。「ウクライナ、台湾そして日本」と題



した講演には、協賛団体である隊友会の狩野（かのう）栃木県隊友会会長、北宇都



宮駐屯地司令、北関東防衛局宇都宮防衛事務所長、栃木地方協力本部長、宇都宮駐屯地司令等々、多くの現職の方々が出席し、また、本部から増田会長、川又理事、事務局長、北関東地域からは剣持群馬県家族会会長（地域会長）、山東長野県家族会会長も出席して大きな盛り上がりを見せました。「ポーランド：ウクライナ⇄ロシアを裏返すと中国⇄台湾：日本」「現地へ足を運ぶと実態が沸く（肌で感じる。）」等、巧みな話術で分かり易く、大変感銘を受ける内容で、講話後には活発な質疑応答が行われました。

(5) 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」

12月1日、東京日比谷公園野外音楽堂で北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会主催の北方領土返還要求中央アピール行動が開催されました。



↑ 今年も鉢巻きを締めて

20名を超える国会議員、各都道府県代表、その他の団体を含め 運動に熱意を持つ

人々が全国から集まる中、根室市長、内閣府及び外務省の各副大臣が挨拶に立ち、元島民の決意表明の後に、銀座を進行して北方領土問題の解決をアピールしました。



(6) 各県活動トピック

ア 11月4日(土)、福知山家族会は、同会が運営する絆農園(家族会会長所有)で秋の大収穫祭を行いました。この絆農園は、家族支援協力の一環として開園された家族会と自衛隊員との絆を結ぶ農園であり平素から隊員家族と交流する場として運営されています。当日は秋晴れの下、陸自福知山駐屯地や海自舞鶴からも多くの隊員・家族が参加し、福知山家族会会長の号令で、5月の植え付けから大きく成長した大根や落花生などが掘りおこされ、子供たちはもとより隊員も興奮気味に収穫に精を出し、また家族会から、たこ焼きやピザなどが現地調理で提供され、楽しく有意義な一日を過ごしました。

京都地方協力本部福知山地域事務所の皆様、ご支援有難うございました。



イ 11月6日(月)、群馬県渋川市自衛隊家族会は、群馬地方協力本部前橋募集案内所の支援を受け陸上自衛隊下志津駐屯地研修を実施しました。

新型コロナ禍のために4年ぶりとなった今回の研修は「自衛隊の人材育成の流れを具体的に理解したい」との要望で、研修先を教育機関である陸上自衛隊高射学校としました。研修では、体育学校で近代5種で活躍していた女性隊員による陸上自衛隊概説及び各種検定種目(射撃・体力・格闘・救急法)の動画



紹介の後、部隊研修で87AW(自走高射機関砲)及び中SAM(中距離地对空誘導弾)の説明を受けました。87AWでは実際に



エンジン始動後姿勢変換要領の展示を研修し、次いで中SAMでは、実際に入校学生に対する教育訓練の場面であるミサイル運搬車の操作風景を研修し、人材育成の様子が見られて大変勉強になりました。



教育を受けている学生目線➡

ウ 11月9日(木)、宝塚自衛隊家族会は兵庫地方協力本部伊丹地域事務所の支援を得て、航空自衛隊奈良基地で研修見学会を実施しました。

奈良基地は関西唯一の航空自衛隊の基地です。宝塚自衛隊家族会11名に兵庫県自衛隊家族会役員2名の、合わせて13名が参加し、施設見学の後に隊員食堂で隊員と同じメニューの食事を体験。その後、正副会長と伊丹地域事務所長とで、幹部候補生学校長兼ねて奈良基地司令 石上空将補を訪問し、歴史ある場所での幹部育成への思いを伺いました。

エ 11月19日、福知山駐屯地記念行事
式辞を述べる福知山駐屯地司令 前野 1 陸佐
観閲台近くの席で帽子とビブス着用で家族会を PR !
写真提供：福知山駐屯地広報室



5 事務局からの連絡

(1) 「DW (ディフェンス・ワールド) 24」の購読申込案内

只今、総合募集情報誌2024年版DW24を現在編集しており、令和6年1月末に完成予定です。

DW24では、**陸自：北千歳駐屯地**、**海自：横須賀基地**、**空自：千歳基地**取材し、自衛隊員を目指す人や自衛隊を知りたい方に、最新の情報や写真を多く取り入れて、読み易く、かつわかり易く編集しています。

令和6年1月末以降、入隊・入校等予定者激励会が予定されていることと思います。

是非DW24を募集協力活動や会員拡大にご活用いただきたくお願い申し上げます。
申込みは、別添の「ディフェンス・ワールド2024年版購読申込書」を使用してメール、またはFAX等でご連絡をお願い致します。

なお会員への販売価格は500円/冊、申込期限は、申込書記載の通りです。



(2) 令和6年度各県自衛隊家族会事業計画作成について

令和5年度第3回理事会(12月初旬書面決議)で「令和6年度自衛隊家族会事業計画(骨子)」を承認いただいた後、令和6年度各県自衛隊家族会事業計画の作成・報告について通知いたしますので、よろしくお願い致します。

(3) 各県入隊・入校等予定者激励会について

年が明けますと入隊・入校等予定者激励会が、早い県では1月末から始まります。細部の日程が決定しないところもあるかと思いますが、予定が立ちましたら家族会事務局(業務担当)までご連絡をお願い致します。

細部様式等につきましては別途連絡いたします。

(4) 北方領土返還要求運動全国大会の開催について

令和6年2月7日に東京代々木の「国立オリンピック記念青少年総合センター」で開催されます。昨年に引き続きYouTubeにより大会の様子を全国配信する予定です。皆様のご覧いただけますので、細部決まり次第ご連絡いたします。

以上